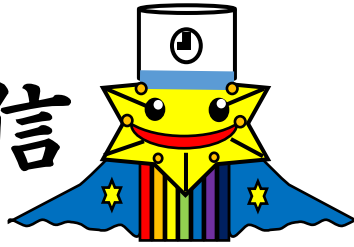


余丁校通信



11月の生活目標

友達と楽しく関わろう。

あなたのSDGs

校長 佐藤 郁子

10月の初め、4年生と社会科見学で中央防波堤の埋立処分場に行ってきました。

私たち人間は生活する上で、どうしてもゴミを出します。環境問題の重要性から、ゴミに対しての意識もかなり高くなり、再利用・再資源化が進んでいます。しかし、すべてのゴミが再利用・再資源化できるわけではありません。再利用・再資源化が難しいゴミが集められるのがこの「埋立処分場」です。

「最終処分場」とも言います。その名の通り、ゴミの最終の処分場所、埋められる場所です。

この埋立処分場の寿命は、あと50年くらいだそうです。この処分場がいっぱいになってしまった後、新たに埋立処分場を造る計画はないそうです。ゴミ埋立地の新設は土地の確保、周辺住民の理解、埋立地を造ることによる周辺環境への影響等課題が多く、困難だそうです。今ある埋立場を少しでも長く使えるように自分たちの生活の仕方を一人一人が考えていく必要があります。

本校の玄関に入ると、正面にトロフィーや楯が飾ってある棚があります。その上に、落とし物箱が置いてあります。ノートがあり、落とし物の拾得や返却を記録しています。記名があるものは速やかに返却しますが、圧倒的に無記名のものが多いです。基本的に2週間保管していますが、その後は処分しています。持ち主に戻るよりも、処分する方が多いです。本年度の4月から9月までに、残念ながら処分した落とし物のベスト3です。

- ①ヘアピン・ヘアゴム
- ②上着（トレーナー、パーカー、ウィンドブレーカー等）
- ③鉛筆
- ①③は予想内でしたが、②には驚きました。



SDGs 12「つくる責任つかう責任」。身近なところからしっかり意識させたいです。そのためには、「物の管理」もこれから生きる上で大切です。

余丁町小学校「スポーツの日」について

体育主任

余丁町小学校「スポーツの日」が近づいてきました。練習にも力が入っています。

昨年度から「目標をもって主体的に練習に取り組める行事」を目指して全校で指導しています。ダンスリーダーを中心に演技をより上達させようと頑張る学年や、休み時間に自主的に音楽を流して練習する学年など形は違いますが、どの学年も意欲的に練習に取り組んでいます。具体的に短距離走では「カーブでスピードを落とさず走るには」、「ゴール直前で遅くならず力強く走り抜けるためにはどうすればよいのか」、表現では「集団できれいにそろえるためにはどうすればよいのか」など、主体的に取り組めるように明確な課題を設定しています。

本番で頑張っている姿はもちろんのこと、練習過程でどのような苦労があって、どのような工夫をしているのかもご家庭で聞いていただき、褒めてあげてください。よろしくお願いいたします。

お知らせ

スポーツの日の参観には「入場券」が必要です。10月20日にすぐるにて保護者通知を配信しました。また、同週に「入場券」を配布していますので、必ずご確認ください。

不審者対応訓練について

生活指導主任

11月27日（木）に、不審者対応訓練を行います。学校に不審者が侵入したという想定で、どのように対応すべきか訓練します。また、教員がどのような動きで児童を守るのかシミュレーションを行います。

牛込警察署の方にお申し、本格的な訓練を行います。ご家庭でも不審者が侵入した場合の対応について、お子さんとお話しいただければ、意識がより高まると思います。ご協力をお願いいたします。